

# 平成29年青森県人口動態統計(概数)の概況 ＜概要版＞

## 調査結果のポイント

### 1 出生 出生数は減少。合計特殊出生率は全国と同率

出生数 H27: 8,621人 → H28: 8,626人(+5人) → H29: 8,035人(▲591人)

合計特殊出生率 H27: 1.43(37位)(+0.01) → H28: 1.48(30位)(+0.05) → H29: 1.43(36位)(▲0.05)

※全国 H28: 1.44 → H29: 1.43(▲0.01)

### 2 死亡 死亡総数は増加

	死亡数(人)			死亡率(人口10万対)				
	H28		H29	増減	H28(順位)		H29(順位)	増減
総数	17,309	→	17,575	+266	1,341.8(6)	→	1,379.5(5)	+37.7
悪性新生物	5,034	→	4,985	▲49	390.2(2)	→	391.3(2)	+1.1
心疾患	2,568	→	2,607	+39	199.1(11)	→	204.6(13)	+5.5
脳血管疾患	1,610	→	1,702	+92	124.8(9)	→	133.6(4)	+8.8
肺炎	1,759	→	1,408	▲351	136.4(5)	→	110.5(8)	▲25.9

### 3 乳児・新生児・周産期死亡 死亡率は単年ではいずれも上昇したが、5年単位では改善傾向

乳児死亡率(出生千対) H28: 2.1 → H29: 2.2(+0.1)

新生児死亡率(出生千対) H28: 0.9 → H29: 1.6(+0.7)

周産期死亡率(出産千対) H28: 3.0 → H29: 4.0(+1.0)

＜5年比較＞

	乳児死亡率	新生児死亡率	周産期死亡率
平成20～24年	<u>2.54</u>	<u>1.31</u>	<u>4.31</u>
平成25～29年	<u>2.01</u> (▲0.53)	<u>1.13</u> (▲0.18)	<u>3.50</u> (▲0.81)

### 4 自殺死亡 自殺者数は減少し、過去最多の平成15年以降では最少

自殺者数 H27: 267人 → H28: 271人(+4人) → H29: 265人(▲6人)

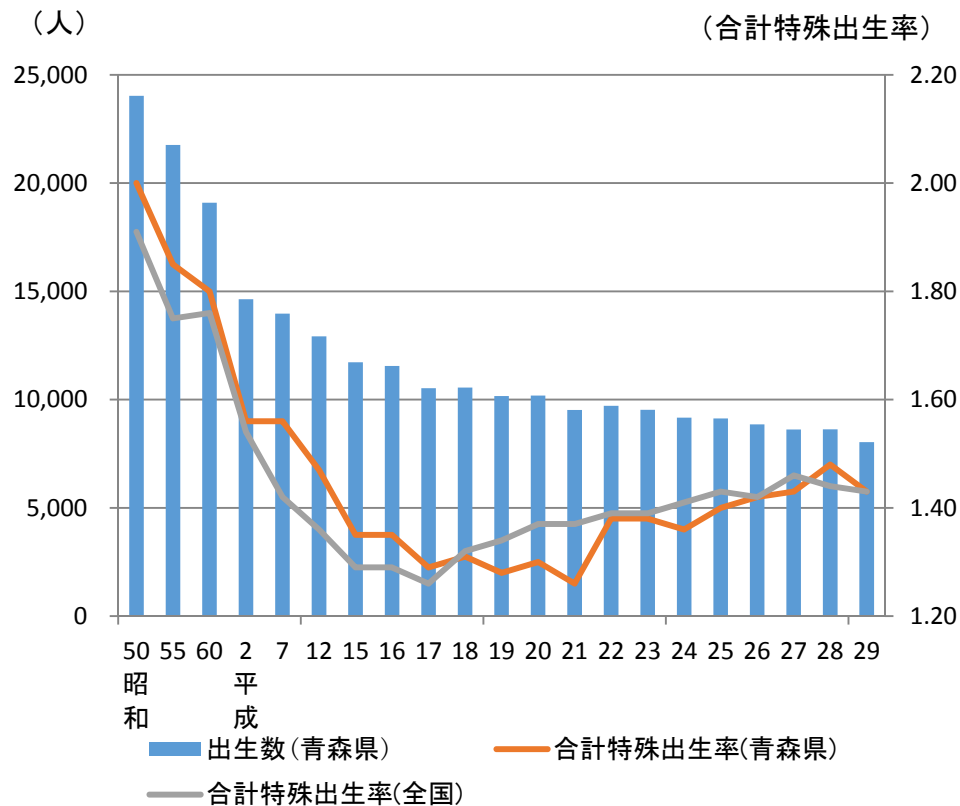
自殺率 H27: 20.5(11位) → H28: 21.0(5位)(+0.5) → H29: 20.8(3位)(▲0.2)

# ○出生数は減少。合計特殊出生率は全国と同率

出生数 H27:8,621人 → H28:8,626人(+5人) → H29:8,035人(▲591人)

合計特殊出生率 H27:1.43(37位) → H28:1.48(30位)(+0.05) → H29:1.43(36位)(▲0.05)

※全国 H28:1.44 → H29:1.43 (▲0.01)



## 【県の取組】

### 1 結婚支援協働サポート事業<30新規>

- 結婚支援取組体制の構築や大学生を対象としたライフプランセミナーの実施、社会全体で結婚を応援する気運を醸成

### 2 乳幼児はつらつ育成事業<30拡充>

- 未就学児を対象に市町村が給付した医療費の自己負担の2分の1を助成  
→平成30年10月から保護者の所得制限をこれまでの約2倍まで緩和

### 3 魅力ある保育所等促進事業

- 保育所の職場環境改善及び保育サービスの充実に関する取組を評価し、満足度の高い保育を提供

### 4 家庭福祉対策教育支援貸付費補助事業

- 大学進学にあたり必要となる入学金等の一時的費用の捻出が困難な世帯や、児童養護施設入所児童等に対し奨学金を貸付

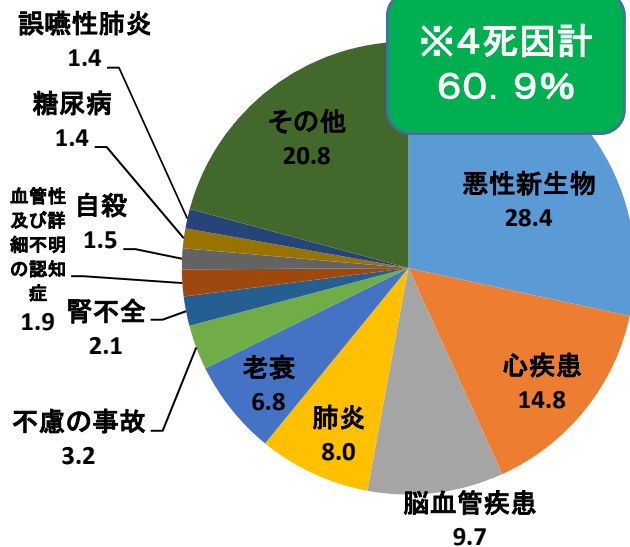
### 5 結婚から子育て応援企業支援事業

- 労働者の結婚から子育ての希望を実現する「働き方改革」の取組として、「あおもり働き方改革推進企業認証制度」の実施  
→「働き方改革」に向けた企業の取組を支援し、雇用環境の改善を推進

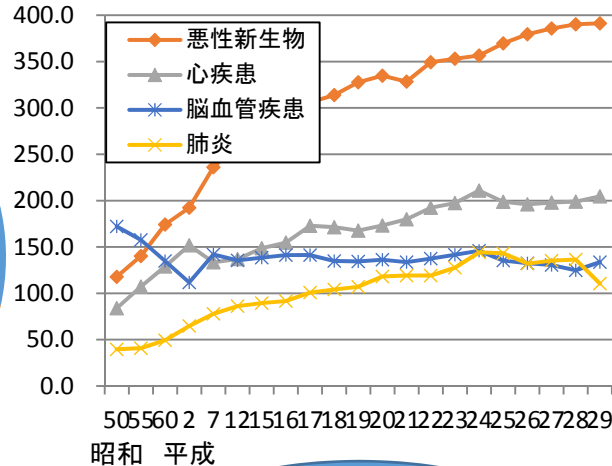
# ○死亡総数は増加

	死亡数(人)			死亡率(人口10万対)		
	H28	H29	増減	H28(順位)	H29(順位)	増減
総数	17,309	17,575	+266	1,341.8(6)	1,379.5(5)	+37.7
悪性新生物	5,034	4,985	▲49	390.2(2)	391.3(2)	+1.1
心疾患	2,568	2,607	+39	199.1(11)	204.6(13)	+5.5
脳血管疾患	1,610	1,702	+92	124.8(9)	133.6(4)	+8.8
肺炎	1,759	1,408	▲351	136.4(5)	110.5(8)	▲25.9

## ○平成29年死因別構成比



(人口10万対)



がんの死亡率は年々増加してきており、がん対策は引き続き重要な課題

## 【県の取組】

### 1 オール青森で糖尿病リテラシー向上事業

<30新規>

・県職員で構成される「高血糖ストッパーズ」による全県的な糖尿病リテラシー向上キャンペーンの展開

### 2 がん総合対策事業<30新規>

・女性の検診機会増加のための「女性のためのがん検診広域化モデル事業」、がん検診の精度を向上させるための「地域連携によるがん検診精度管理向上事業」や、がん経験者(ピア・サポーター)が患者や家族の相談支援に当たるための「がん相談支援推進事業」の実施

### 3 青森県健康経営認定制度の推進

・県内で「健康経営®」(\*)に取り組む事業所を「青森県健康経営事業所」と認定し、働き盛り世代の健康づくりを推進(H30.5.25時点で105事業所を認定)  
 (\* ) 「健康経営®」: 特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標

# ○乳児死亡率・新生児死亡率・周産期死亡率は、単年ではいずれも上昇したが、5年単位では改善傾向

乳児死亡率(出生千対) H28:2.1 → H29:2.2(+0.1)  
 新生児死亡率(出生千対) H28:0.9 → H29:1.6(+0.7)  
 周産期死亡率(出産千対) H28:3.0 → H29:4.0(+1.0)

## <5年比較>

平成20~24年  
 平成25~29年

## 乳児死亡率

2.54  
 2.01(▲0.53)

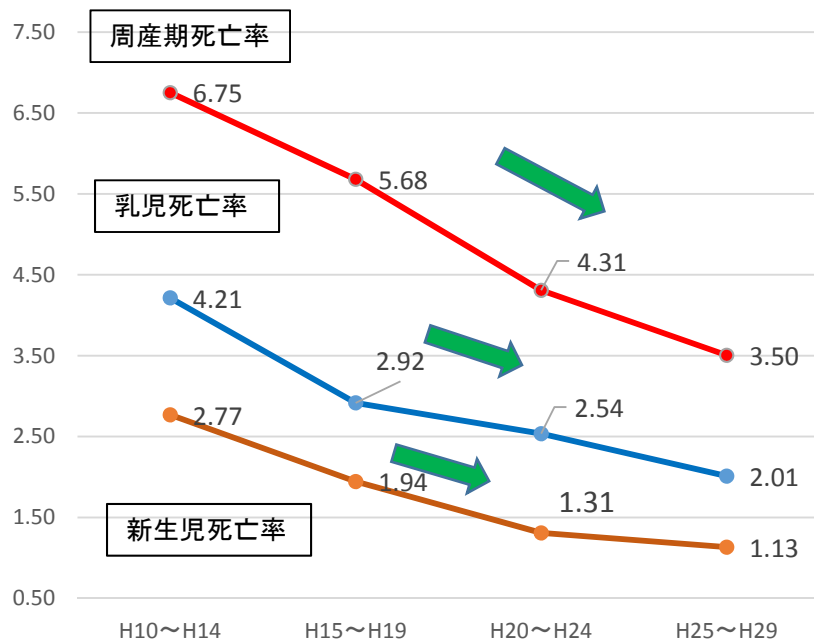
## 新生児死亡率

1.31  
 1.13(▲0.18)

## 周産期死亡率

4.31  
 3.50(▲0.81)

乳児・新生児・周産期死亡率推移(5年単位)



## 【県の取組】

### 1 青森県立中央病院総合周産期母子医療センター (平成16年10月から稼働開始)を中心とした「青森県 周産期医療システム」の運用

- ・総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター等の機能分担と連携による24時間対応可能な周産期の救急対応
- ・母体・胎児搬送及び新生児搬送、並びに母体胎児集中治療室(MFICU)、新生児集中治療室(NICU)等の確保を含めた周産期医療の提供が可能な体制

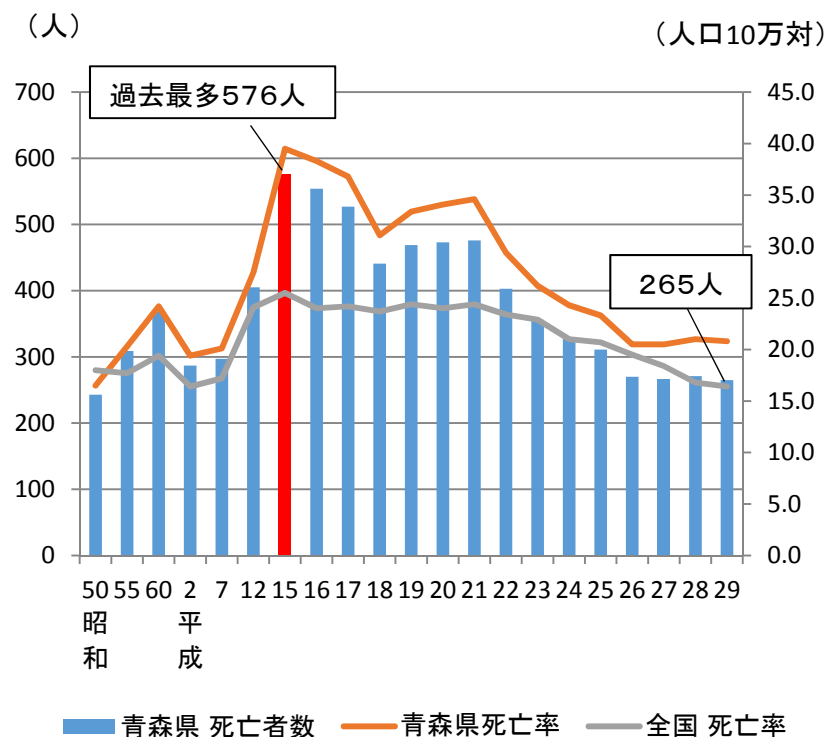
### 2 ハイリスク妊産婦への支援強化

- ・総合周産期母子医療センターを利用する患者・家族のための待機宿泊施設(ファミリーハウスあおもり)開設による利便性向上・負担軽減
- ・周産期母子医療センターから遠方にあるハイリスク妊産婦が早期から安心して治療を受けられるよう、交通費等の支援体制を整備

# ○自殺者数は減少し、過去最多の平成15年以降では最少

自殺者数 H27: 267人 → H28: 271人(+4人) → H29: 265人(▲6人)

自殺率 H27: 20.5(11位) → H28: 21.0(5位) (+0.5) → H29: 20.8(3位) (▲0.2)



## 【県の取組】

### 1 これまでの取組

- ・ワンストップ型相談支援の実施
- ・ゲートキーパーの育成
- ・自殺対策基本法に定める県の自殺対策計画の策定

### 2 いのち支える包括的自殺対策事業

- (1) 戦略的自殺対策計画策定事業
  - ・市町村自殺対策計画の策定支援
- (2) ハイリスク支援強化事業
  - ・ハイリスク層(高齢者、壮年期男性、自殺未遂者)ごとのリスク要因に着目した支援
- (3) 包括的基盤強化事業
  - ・SNSを活用した情報発信とトーク機能による相談受付<30新規>
  - ・児童・生徒に対するSOSの出し方教育の普及(モデル指導案・教材の作成)